

介護職員初任者研修の資格を 13名が取りました！！

遺愛の一般コースには、高大連携の一つで、高校2年生が1年間大谷短大に通い、短大生と同じ授業を受け、実習をして、介護職員初任者研修の資格をとれる選択授業があります。

現3年生は昨年度13名受講しましたが全員無事修了し、7月7日（火）に、函館大谷短大からわざわざ福島憲成学長がお越しください、受講者に修了証を直接手渡して下さいました。

就職に有利なだけでなく、超高齢社会の進展のなかで家族の介護が必要になったときにとっても役立つものです。

厚生労働省の「日本の世帯数の将来推計（全国推計）2018年推計」によると2015年時点における65歳以上人口は3,395万人で、75歳以上人口は1,646万人ですが、2025年には65歳以上人口3,677万人、75歳以上人口は2,180万人にまで増えると予測されています。

全人口に占める割合は、2015年時点では65歳以上が26.6%、75歳以上が12.8%であるのに対し、2025年には65歳以上が30.0%（私も入ります。）、75歳以上が17.8%まで上昇する見込みです。これは世界でダントツトップの高齢化率だそうです。

今後どのように対応していくのか大きな課題ですが、全国の中学・高校で介護初任者研修レベルの座学と実技を全員必修にする時代が近いうちにくるのではないかと思います。



2020年7月13日（月）